

5・6年 単元名「塩浜の生物と環境～嵐潮ひかる海原に～」(25時間)

※ 平成28年度の実践(概要報告)

1 単元設定の理由

本校では、前期課程児童3年生から後期課程生徒9年生の「学び」と「育ち」をつなぎ、「系統性・連続性」を具現化する取り組みとして「塩浜ふるさと防災科」(市川市教育委員会 指定)を実施している。本教科の目標は「ふるさと塩浜の歴史や自然環境に触れて理解を深めたり、自然災害発生を想定し、それに備えて地域の方々と協力しながら自ら考え自ら進んで活動したりすることで、地域に誇りや愛着を持った思いやりのある豊かな心と、自主的に問題解決を行う、たくましく生きる力を育む。」としている。塩浜版学習指導要領の記載事項は以下の通り。

目標 (3) 地域の自然や環境について学び、理解を深める。また、自然災害への科学的な理解を深める。

内容C 地域への理解と愛着を深める

- (1) 地域への理解と愛着を深めるため、次の事項について指導する。
地域の歴史や自然環境、そこに生活し、地域のよさを守ろうとしている人々がいることを知り、地域への理解を深める。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような活動を通して指導するものとする。
ア 塩浜や行徳の生物と環境について学び、課題を知ること。
イ 塩浜や行徳の地域の人々と連携して、避難防災活動などに参加すること。

上記の目標を達成するための「推進の視点C＝地域の理解と愛着を深める」の一つとして、充実期(Mブロック)に「塩浜の生物と環境」を学ぶ。この取り組みの一環として、海洋教育に取り組む。今回の取り組みは、発展期(Lブロック)で学ぶ「東京湾 命のゆりかご三番瀬を守れ」につながっていくものである。

本単元は、まず近隣の野鳥の森から一斉に塩浜の海へと移動する鳥の画像や映像を見せ、地域への興味関心を高める。その後、実際に船に乗って塩浜の海に出て、海から陸(塩浜地区を含む)を眺めることで自然や環境への興味関心を高めつつ、新たな疑問や課題を掘り起こす。

その後、大まかな疑問点を集約し、自然や環境に関するテーマ別学習に発展させ、調べたことを仲間や保護者・地域の方々にわかりやすく伝えられるような発表会を行う。

学習してきた資料などを自分なりの観点で再構築していく活動を通してまとめとする。

「出会う→つかむ・追究する・広げる→まとめる」の形で単元を構成する。





2 単元目標

- (1) 塩浜や行徳の生物と環境について興味を持ち、意欲的に調べることができる。
(ふるさとへの関心・意欲・態度)
- (2) 調べたい情報を適切な方法で収集できる。
(問題解決能力)
- (3) ふるさと塩浜における生物と環境の姿(特色)について理解できる。
(ふるさとについての知識・理解)
- (4) 友達の意見を理解することができ、それに対して自分の考えを言うことができる。
(コミュニケーション能力)

3 単元の評価基準

ふるさとへの関心・意欲・態度	問題解決能力	ふるさとについての知識・理解	コミュニケーション能力
ふるさとの自然や環境について興味を持ち、意欲的に調べることができる。興味をもって課題について調べている。	自分のめあてを達成するための手順を考えられる。書籍やコンピュータなどを用いて調べ進められる。	ふるさとに豊かな自然が残っていることを理解できる。調べたことをわかりやすく工夫して表現することができる。	友だちの意見に関心を持ち、理解することができる。友だちの意見に対して自分の意見が言える。

4 単元の指導計画（全25時間扱い）

時	学習活動	指導上の留意点
8	<p>塩浜の生物と環境について、課題を見つけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然にふれ、興味関心を高める。 ・実際に海に出て、塩浜地区を眺める。 ・疑問や興味をもったことについて 	<p>身近な素材を提供し興味関心を高める。</p> <p>児童の気づいたこと、疑問に思ったことを生物・環境のカテゴリで分類してテーマ別の課題を設定する。</p>
10	<p>テーマ別の課題について調べよう。（テーマ案）</p> <p>テーマ①塩浜の海（東京湾）の生き物 「干潟にすむ生き物とそれを餌にして渡ってくる鳥たちの種類と生態を調べる」</p> <p>テーマ②塩浜の海（東京湾）の水産資源 「船橋の巻き網船団やのりの養殖、ホンビノス貝などの豊富な水産資源を調べる」</p> <p>テーマ③よみがえった塩浜の海（東京湾） 「生活排水や工場排水で汚された塩浜の海（東京湾）が多様な生き物がすむ海へと生まれ変わった過程を調べる」</p> <p>テーマ④むかしの塩浜の海（東京湾） 「古くから人口の集中していた江戸前の海の様子とその役割について調べる」</p>	<p>4つのテーマを設定し、追究したい課題別に5・6年混合で9つの班に分ける。</p> <p>調べ学習は、図書館とコンピュータ室を利用し、本とインターネット等で調べる。</p>   
4	<p>調べたことを発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように発表するのかを考える。 ・リハーサルをする ・アドバイスを参考にして、さらに練習する。 ・発表会形式で行い、児童が運営・進行する。 ・発表を行い、互いの発表を聞きあう。 ・疑問点等を質問し、次につなげる。 	<p>全班 PP のスライドを作成する。 実物投影機を活用する。</p> 
3	<p>学習のまとめをして、次につなげよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習したことをまとめる。 ・新たな課題が見つかった場合は、記録しておく。 ・今後調べたいことについて、必要な書籍を選ぶ。 ・タブレットを活用し、班単位で下級生に発表する。 	<p>まとめたものを成果物として掲示し、今後につなげていく。 今後の調べ学習にむけて、関連の蔵書の種類と冊数を増やす。 課題を見つける機会とする。</p>
<p>外部連携 / 教材等</p> <p>海洋教育パイオニアスクールプログラムにて実施 東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター 市川市自然博物館、市川市教育委員会、船宿 伊藤遊船</p>		